

【授業科目】 国際看護学特論 Theory of International Nursing

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー
Daniel T. Kirk	1年次後期	選択	1	15	講義	巻末掲載
授業概要 (内容と進め方) 及び 課題に対する フィードバック 方法	世界の国々の看護・保健医療福祉事情を理解するために、さまざまな国々において活躍している看護・保健医療福祉分野の実践家及び研究者により各国の文化の紹介と看護医療福祉とその実践について講義を展開する。課題に対するフィードバック方法/提出された課題(レポート等)にコメントをつけて返却する。 提出された課題(レポート等)について、全体の総評コメントを講義の中で行う。					
授業の 位置づけ	本学大学院のディプロマ・ポリシー③自ら積極的に課題を探究し、主体的に解決しようとする能力、専門的職業人としての研究的視点を持ち、看護に対する科学的探究心を体得する、④健康に対する社会的ニーズを認識し、保健・医療・福祉チームの一員として、国内外で広く社会に貢献する能力を体得する、の達成に寄与している。					
到達目標 (履修者が 到達すべき 目標)	1. 多様な文化的、社会的、地理・地域的背景を持つ、先進国および発展途上国の看護・保健医療福祉の状況や事情を理解できる。 2. 世界の国々が抱える看護・保健医療福祉の課題とその対策について考察を深めると共に、国際看護医療分野で活躍する能力を培うことができる。					
時間外学習 に必要な 内容・時間	事前・事後学習：配布資料や紹介する文献を読み、学習を深める。(各60分) 提示された課題について文献レビューを行い、レポートを作成する。(180分) ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間(2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回)(1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回)(1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回)を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。					
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ①トランスカルチュラルナーシング(異文化看護)、アメリカの医療「システム」 ②トランスカルチュラルナーシング、カリフォルニア州の医療と看護 ③トランスカルチュラルナーシング、コミュニケーションと時間 ④トランスカルチュラルナーシング、家庭と死 ⑤トランスカルチュラルナーシング、仕事と性格 ⑥トランスカルチュラルナーシング、生物文化 ⑦トランスカルチュラルナーシング、栄養と宗教 ⑧トランスカルチュラルナーシング、発表 					全て Daniel T. Kirk
評価方法 評価基準	討議への参加とその内容(30%)と発表(70%)により評価する。					
教科書	特に指定しない。		参考書等	その都度紹介する。		